

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/05/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.09	-0.05
JPY/THB	0.2687	0.0018
USD/JPY	126.83	-1.07
EUR/THB	36.59	0.11
EUR/USD	1.0736	0.0045
USD/CNH	6.657	-0.004
SGD/THB	24.85	0.00
AUD/THB	24.23	-0.04
USD/INR	77.59	0.07
USD Index	101.86	-0.22

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.321	0.021
10Y (THB)	3.046	-0.024
5Y (USD)	2.741	-0.127
10Y (USD)	2.751	-0.101

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,865.4	17.6
WTI (Oil)	109.77	-0.52
Copper	9,453.5	-94.5

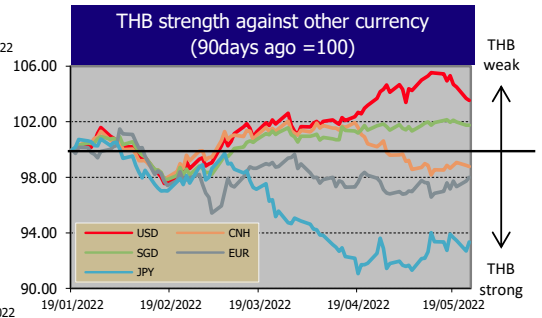
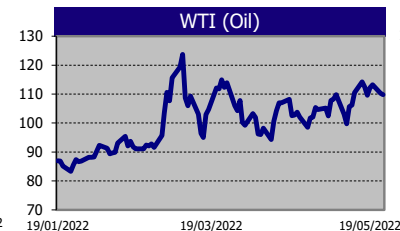
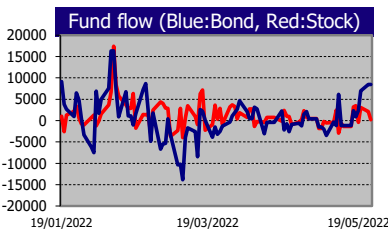
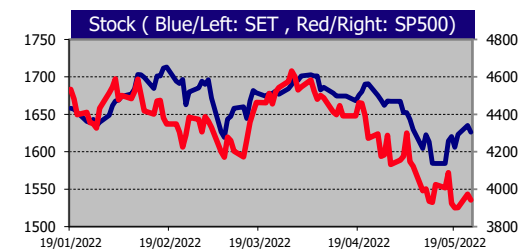
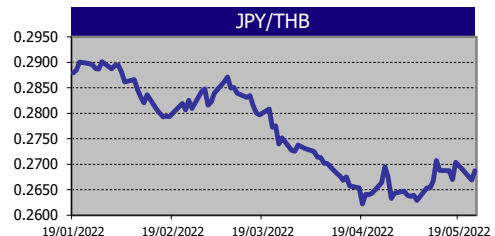
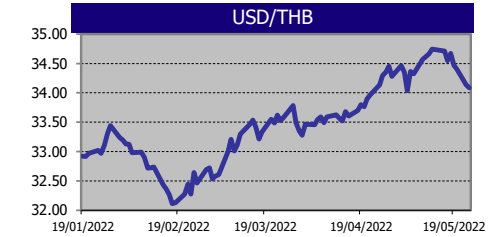
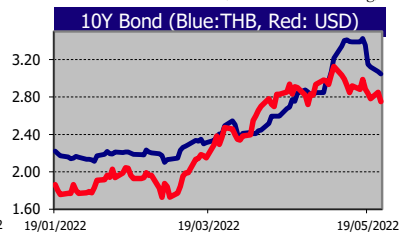
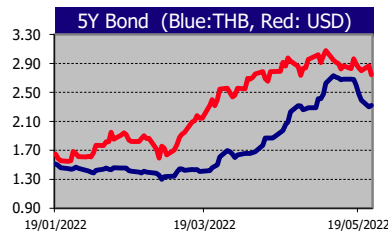
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,626.23	-9.05
NIKKEI (JP)	26,748.14	-253.38
DOW (US)	31,928.62	48.38
S&P500 (US)	3,941.48	-32.27
SHCOMP (CN)	3,070.93	-75.93
DAX(GER)	13,919.75	-255.65

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	192	-1902.1
Bond net flow	8,470	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは34前半で取引開始。朝方は前日海外時間の反動からドルが買い戻されて10サタンほど上昇したが、再びドル売りが優勢となると、バンコク時間終盤には約20日ぶりの水準に下落。海外時間、ラガルドECB総裁の第3Q中銀預金金利プラス圏予想によるユーロ買いドル売りや、低調な米経済指標を受けたドル売りに上値を抑えられ、引き続き安値圏をキープし、34.09レベルで終えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は127円後半で取引を開始。日中は一時128円を回復するタイミングがあったが、米金利低下や日経平均の軟調推移を受けて円買いが強まり、バンコク時間終盤には127円前半へ沈んだ。海外時間、米住宅関連指標が20年4月以来の低水準を記録、米景気の先行き懸念から米金利低下が加速する中で127円を割り込み、126.83で引けた。

Bangkok Dealer's Eye

ECBのラガルド総裁はブログで、7月からの利上げや9月までにマイナス金利からの脱却を目指す内容の文面を記載したことで、7月と9月の利上げがほぼ確定事項になろうとしています。昨年のFedも、当初はインフレを一時的なものとみなして引き締めを否定していたものの年後半でインフレが一段と高まり、パウエルFRB議長も方針を切り替え引き締めへと加速しました。インフレの拡大に強い懸念を示す中銀にとっては、市場の混乱を避けつつ政策の転換点を示す工夫が必要となっています。日本とタイは経済回復の優先順位を高く設定しておりFedや他中銀のインフレへの懸念とは一線を画していますので、仮に方針を切り替えるとなると大きなインパクトがありそうですので将来の注意点となります。

さて、以前までは早急に利上げをするFedのスタンスを受けてドルが選好される状況でしたが、足許では急激な利上げによるリセッション懸念もちらついており調整の動きが見られています。今後は、利上げをしていた国々も経済指標を確認して政策を微調整してくることから市場が織り込んでいるような利上げペースから変更されることが想定されますので政策金利をテーマとしたトレンド相場からは徐々に変わっていくのかと考えます。(塩谷)